学校番号	313

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	新編　数学Ｂ　（数研出版）						
副教材等	Studyup ノート数学Ｂ　（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では課題に対して自ら考えて周りと協働して考える活動をしていきます。
・授業では板書を書き写すだけでなく、必要なポイントや他の生徒の発言で関連のあることなど、自らが気付いたことを記入していくことが大切です。
・教科書や問題集の問題を解くときは、ただ答えを求めるだけでなく、途中式や考え方も書くようにしましょう。
そして必ず答え合わせをしましょう。答え合わせは、どこでつまずいたかを知り改善につなげるための大切なプロセスです。
・家庭学習では授業で配布したプリントや問題集などを解き、授業の復習をしましょう。課題提出を求めることもあります。毎日コツコツとやっていけるように計画をたてて勉学に励みましょう。

2　学習の到達目標

数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通して，数学的に考える資質・能力を育成する。
(1) 数列，統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と社会生活の関わりについて認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
(2) 離散的な変化の規則性に着目し，事象を数学的に表現し考察する力，確率分布や標本分布の性質に着目し，母集団の傾向を推測し判断したり，標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力，日常の事象や社会の事象を数学化し，問題を解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。
(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	数学を活用して事象を論理的に考察する力，事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	数列，統計的な推測及び数学と社会生活の分野において，数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，事象に数学の構造を見い出そうとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり評価・改善したりしようとする態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章　数列	1節 等差数列と等比数列	a：数列の概念及び用語の意味を理解する。等差数列の意味を理解する。等差数列の一般項を求められるようにする。等比数列の意味を理解する。等比数列の一般項を求められるようにする。 b：数の並び方からその規則性を推定して，数列の一般項を考察できる。等差数列，等比数列の項を書き並べて，隣接する項の関係が考察できる。等差数列，等比数列の和を工夫して求める方法について考察できる。 c：数の並び方に興味をもち，その規則性を発見しようとする意欲がある。等差数列，等比数列の和を工夫して求める方法に興味をもち，和の公式を導こうとする意欲がある。	定期考査	定期考査 確認テスト 振り返りシート	振り返りシート 提出ノート 観察
		2節 いろいろな数列	a：自然数の 2 乗の和の求め方を理解する。記号Σの意味，性質を理解する。数列の和を，記号Σを用いて処理できるようにする。階差数列の意味を理解する。階差数列を用いて，一般項を求められるようにする。和が与えられた数列の一般項を求められるようにする。 b：和Σr^kについて，既に学んだ等比数列の和と捉えて求めることができる。初項から第 n 項までの和に着目して，一般項を考察できる。 c：数列の規則性を，隣り合う 2 項の差を用いて発見しようとする。	定期考査	定期考査 確認テスト 振り返りシート	振り返りシート 提出ノート 観察
		3節 漸化式と数学的帰納法	a：数列の帰納的定義や漸化式について理解する。漸化式で表された数列の一般項を求められるようにする。数学的帰納法による証明のしくみを理解する。数学的帰納法を利用して等式や整数の性質を証明できるようにする。 b：漸化式を適切に変形して，その数列の特徴を考察することができる。 c：おき換えや工夫を要する複雑な漸化式について，考察しようとする。	定期考査	定期考査 確認テスト 振り返りシート	振り返りシート 提出ノート 観察

2学期	第2章　統計的な推測	1節 確率分布	a：確率変数の意味を理解する。確率分布を求められるようにする。確率変数の平均，分散，標準偏差の意味を理解する。確率変数の平均，分散，標準偏差を求められるようにする。二項分布及びその平均，標準偏差について理解する。二項分布の平均や標準偏差を求められるようにする。連続的な値をとる確率変数の確率分布を理解する。確率密度関数が与えられたときの確率を求められるようにする。正規分布，標準正規分布の意味を理解する。標準正規分布にしたがう確率変数について確率を求められるようにする。正規分布にしたがう確率変数を標準化して確率を求められるようにする。二項分布における確率を，正規分布に近似して求められるようにする。 b：確率変数の期待値，分散，標準偏差などを用いて確率分布の特徴を考察することができる。具体的な事象を二項分布として捉え，考察することができる。 c：確率的な試行の結果を表すのに確率分布を用いることのよさに気づき，確率分布について積極的に考察しようとする。現実のデータが正規分布に近い分布になることがあることに興味をもち，様々なデータについて考察しようとする。	定期考査	定期考査 確認テスト 振り返りシート	 振り返りシート 提出ノート 観察

		2節 統計処理	a：標本調査に関する用語の意味を理解する。母集団から無作為標本を抽出できるようにする。母平均，母標準偏差を求められるようにする。標本平均の確率分布を求められるようにする。標本平均の平均や標準偏差を求められるようにする。標本平均の分布を正規分布で近似できるようにする。標本から母平均を推定できるようにする。標本から母比率を推定できるようにする。仮説検定の手順や仮説検定に関する用語を理解する。確率分布を利用して仮説を検定できるようにする。 b：母集団分布と大きさ１の無作為標本の確率分布が一致することについて考察できる。母平均と母標準偏差の考え方や標本平均の期待値と標準偏差の考え方がわかる。 c：現実に行われている様々な調査が全数調査か標本調査か，またその方法を採用しているのはなぜかに興味をもち，それぞれの調査の特徴を調べたり考えたりしようとする。	定期考査	定期考査 確認テスト 振り返りシート	 振り返りシート 提出ノート 観察

3学期	第3章　数学と社会生活	1節 数学と社会生活	a：平均値や中央値について理解し，それらを求められるようにする。散布図，相関係数と相関の度合いの関係を理解する。散布図上のデータを適切な関数で近似し，推測に活用できるようにする。箱ひげ図に関連する用語やその意味を理解する。箱ひげ図から必要な情報を読み取り，判断に活用できるようにする。確率分布から期待値を求め，判断に活用できるようにする。適切な手段によって事象を単純化し，判断や推測の場面で活用できるようにする。数値化された指標を導入し，判断に活用できるようにする。 b：問題解決の過程や結果の妥当性について批判的に考察し，別の仮定を立てて考察することができる。問題を解決するのに，関数やグラフを活用することができる。対数目盛において直線上に並ぶ点やその傾きの意味について理解し，事象の特徴を考察できる。 c：社会生活における問題について，学んだ方法を積極的に活用し，主体的かつ対話的に問題を解決しようとする。回帰分析を活用して，積極的にデータを分析したり予測したりしようとする。	定期考査	定期考査 確認テスト 振り返りシート	振り返りシート 提出ノート 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度